

FBS福岡放送賞

森を守ろう

福岡県久留米市
福岡教育大学附属久留米小学校5年

滝貞 瑛丈

みなさんは、魚などの海の生き物は好きですか。ぼくは、イルカなどの海生ほ乳類が好きです。イルカは海にすんでいます。そして、イルカは魚を食べます。その魚は、プランクトンを食べます。つまり、イルカが生きるために、プランクトンが必要です。プランクトンを増やすには、どうすればいいのでしょうか。

実は海と森はつながっているんです。森には木があります。その木から葉が落ちて、くさって栄養分の多い土になります。これを腐葉土と言

います。雨がふって、この腐葉土の栄養分が川に流れます。その川の水が海に流れて行きます。腐葉土には、栄養分がたくさんあるので、プランクトンがふえます。そのプランクトンが魚に食べられて、その魚をイルカが食べます。

ほかに森には、すごいことがあります。森には保水能力があります。降った雨をいったん土の中にたくわえて、少しずつ川に流して洪水をふせぎます。もし木がなかったら、どうなるでしょうか。洪水や河川のは

らん、土砂くずれが起きます。今、人間は便利な生活を求めて、木を切っています。家をたてるためには、木が必要です。高速道路をつくるためには、山をきりひらかなければいけません。このように、森の木は、へつてきています。だから今、自然災害がおきやすいのです。人間は、自分たちで自分たちの首をしめています。

木がなくなれば、生き物のすみ場所もなくなります。また、木がなくなれば、腐葉土がなくなり、川へ流

れなくります。プランクトンがへり、それを食べる魚もへります。すると、私たち人間が食べるものもなくなってしまう。もちろんぼくの大好きなイルカもいなくなってしまう。

それでは、木をふやすためには、どうすればよいのでしょうか。まず、木を切りすぎないようにすることです。なぜなら、今ある木が、へらなようにすることが大切だからです。次に苗木を植えることです。なぜなら、木がふえるには、木を植えないと始まらないからです。でも、植えても木が大きくなるまでに約六〇年〜八〇年育てなければいけません。とつても長い時間がかかります。最後に日当たりをよくして、よく育つように間ばつすることです。

この三つを、ぼくがすることは、とつてもむずかしいです。でも、日々の生活にできることがあります。それは、紙をむだづかいしないことです。紙は木からできています。紙をむだづかいしないで、森の木を、切る量がへります。このことは、とても小さいことです。しかし、毎日むだづかいしないように気をつけると、小さなことが大きくなります。そして、ぼく一人じゃなくて、たくさんの方がすれば、もつと大きいくとになります。

みなさん、紙のむだづかいはしないように気をつけてください。森をいっしょに守りましょう。森の木を増やしましょう。森を元気にさせましょう。イルカも、お願いしていると思います。